



**Sleep
Innovation
Platform[®]**

令和6年度

第2回 Sleep Innovation Platform[®]総会

開催レポート

2024年8月9日（金）開催

於：日本生命保険相互会社

開催概要

【日時】2024年8月9日（金）13時30分～17時30分

【場所】日本生命保険相互会社 丸の内ビル

1. 開会宣言

Sleep Innovation Platform 理事長／筑波大学 国際統合睡眠医科学研究機構 WPI-IIIS 機構長
柳沢 正史



開会にあたり、Sleep Innovation Platform 理事長 柳沢 正史よりご挨拶を承った。

「本日第2回総会を無事に開催することができたことと、東京駅を一望できる素敵な会場をお貸しいただいた日本生命様に感謝申し上げます。一昨年、8団体でスタートしたSIPも本年ご加入いただく企業を加えますと21団体の加盟となります。昨年の総会に引き続き、経済産業省様、厚生労働省様もご出席いただいております。「健康日本21（第三次）」の提言や、「健康づくりのための睡眠ガイド2023」など睡眠へのアプローチが多くなってきていることは大変喜ばしいです。それに伴い今年度はライフステージに合わせたサブワーキングが立ち上がることも期待しております。」

2. 来賓挨拶 I

経済産業省 商務・サービスグループ ヘルスケア産業課 課長
橋本 泰輔



来賓挨拶として、経済産業省 商務・サービスグループ ヘルスケア産業課 課長 橋本泰輔様には、経済産業省としてのヘルスケア政策についてご説明いただいた。ヘルスケア政策の目指す姿とは「国民の健康増進」「持続可能な社会保障制度構築への貢献」「経済成長」の同時実現であり、そのための具体的な施策である健康経営推進や PHR 活用などでいかに睡眠が重要視されているのかお話しいただいた。

3. 来賓挨拶Ⅱ

厚生労働省 健康・生活衛生局 健康課 女性の健康推進室 室長
谷口 倫子



来賓挨拶として、厚生労働省 健康・生活衛生局 健康課 女性の健康推進室 室長 谷口倫子様には、健康日本 21（第三次）と睡眠の取り組みについてご説明いただいた。

健康日本 21（第二次）での評価や課題を経て、第三次では「誰一人取り残さない健康づくり」として性差や年齢も加味した健康施策を実施しており、睡眠分野に関しては「健康づくりのための睡眠ガイド 2023」の策定に際し、ライフステージに応じた推奨事項の見直しについてお話しいただいた。

4. 各メンバー紹介

■ 役員

- ・ 理事長：柳沢 正史（筑波大学 国際睡眠医科学研究機構 WPI IIS 機構長）
- ・ 理事：渡辺 光明（東京海上日動火災保険株式会社 東京中央支店 支店長）
- ・ 理事：西川八一行（西川株式会社 代表取締役 会長）
- ・ 幹事：垣見 俊之（伊藤忠商事株式会社 執行役員 人事総務部長）

■ 運営委員

- ・ 小久保 利雄（筑波大学 国際睡眠医科学研究機構 WPI IIS）
- ・ 勝 真理（株式会社アシックス スポーツ工学研究所 人間特性研究部 部長）
- ・ 森川 友也（伊藤忠商事株式会社 人事・総務部 企画統轄室長）
- ・ 俵谷 好法（株式会社 S'UIMIN 取締役 CEO）
- ・ 高橋 あずさ（東京海上日動火災保険株式会社 マーケット戦略部 企業戦略室 課長）
- ・ 竹内 雅彦（西川株式会社 イノベーション・マーケティング戦略事業部 執行役員 部長）
- ・ 須永 康資（日本生命保険相互会社 ヘルスケア事業部 ヘルスケア事業企画 担当部長）
- ・ 初雁 卓郎（パラマウントベッド株式会社 デジタル事業開発部 シニアマネージャー）

■ 加盟団体・企業

- ・ 筑波大学 国際睡眠医科学研究機構 WPI IIS
- ・ 株式会社アシックス
- ・ 伊藤忠商事株式会社
- ・ 株式会社 NTT データ
- ・ 花王株式会社
- ・ カルビー株式会社
- ・ 株式会社資生堂
- ・ 株式会社 S'UIMIN
- ・ 積水ハウス株式会社
- ・ 東京海上日動火災保険株式会社
- ・ 西川株式会社
- ・ 日本生命保険相互会社
- ・ パラマウントベッド株式会社
- ・ 株式会社ブレインスリープ
- ・ 三井不動産株式会社
- ・ レスメド株式会社

■ 新規加盟団体・企業

- ・国分グループ本社株式会社
- ・塩野義製薬株式会社
- ・株式会社ティップネス
- ・株式会社三菱 UFJ 銀行
- ・ユニ・チャーム株式会社

■ アドバイザリーボード

柳沢 正史 （筑波大学 国際統合睡眠医科学研究機構 WPI-IIIS 機構長）

宮田 裕章 （慶応義塾大学 医学部教授）

ビデオメッセージ

西野 精治 （スタンフォード大学 医学部精神科 教授 スタンフォード大学 睡眠生体リズム研究所 (SCNL) 所長）

5. 総会決議

決議に先立ち、定足数の確認が行われた。

会則第 20 号により「総会は、代理出席、委任状を含め、正会員の過半数の出席をもって成立する」と規定している。

会場出席者数 : 20 団体
委任状による出席者数 : 1 団体
合計 : 21 団体

8 月 9 日時点での正会員数 21 社/団体であるため、本総会は適法に成立していることを報告した。尚、会則第 20 号の定めに基づき、出席者の過半数の同意をもって可決とする。

決議案 1. 令和 5 年度会計報告の件

決議に先立ち、事務局の北本より令和 5 年度の活動報告を行った。

【WG 1 睡眠サービスの品質向上】

- ・「睡眠ソリューションの有効性評価に関するガイドライン」を 2024 年 4 月に完成。
- ・2023 年 11 月～2024 年 1 月 経済産業省より「令和 5 年度ヘルスケア産業基盤高度化推進事業(ヘルスケアビジネス創出推進等事業)に係る業界自主ガイドライン策定に関わるヒアリング業務」を受託。

【WG 2 様々な事業者間連携による高付加価値ビジネスモデルの検討・開発】

- ・健康経営サポートを目的とした Subcom 2 では、伊藤忠商事株式会社の従業員 736 名を対象に、睡眠改善サポートの実証を完了した。働く世代における睡眠課題の大きさを再確認する結果となった。

【WG 3 睡眠データの利活用促進に向けた基盤整備】

- ・データ取扱いの観点を整理や共有、既存デバイス（8 種類）のデータ項目を調査や整理を実施。
- ・PHR サービス事業協会（PSBA）内の標準化委員会のライフログ標準化WG内に「睡眠サブWG」が設置され、リード企業として活動。

活動報告に伴い、事務局の飯沼より令和 5 年度の会計の報告を行った。

当決議案は、賛成多数のため、可決した。

決議案 2. 令和 6 年度予算の件

決議に先立ち、事務局北本より令和 6 年度の活動についての説明が行われた。

昨年度までの Subcom 活動を、本年度よりサブワーキンググループ (WG) へと変更し、より細分化された活動を束ねるためリード企業・団体制を導入した。各サブ WG を代表して、リード企業・団体より本年度の活動計画が発表された。

WG1 「ガイドライン整備事業」サブ WG

WG1 「認証制度・広報標準化活動」サブ WG



徳山 薫平 (筑波大学 国際睡眠医科学研究機構 WPI IIIS)

WG2 「睡眠と運動の連携サービス設立事業」サブ WG



勝 真理 (株式会社アシックス スポーツ工学研究所 人間特性研究部 部長)

WG2「健康経営サポートを目的としたサービス開発」サブWG



森下 みゆ（西川株式会社 イノベーション・マーケティング戦略事業部 ソリューション推進部）

WG2「快眠ハウスモデル事業推進」サブWG



宇於崎 涼介（積水ハウス株式会社 総合住宅研究所）

WG2「高齢者の健康と睡眠課題解決」サブWG



初雁 卓郎（パラマウントベッド株式会社 デジタル事業開発部 シニアマネージャー）

WG2「女性の健康と睡眠課題解決」サブWG



菅 文美（ユニ・チャーム株式会社 Global 開発本部 Life Time Value 共創部 Senior Research Scientist）

WG2「子供と若年世代の睡眠課題解決」サブWG



大村 友泰（塩野義製薬株式会社 経営支援本部 CSR 推進部 こどもの未来支援室 課長）

WG3「PHR 睡眠データ標準化推進」サブWG



野々村 琢人（西川株式会社 日本睡眠科学研究所 所長）

各サブWGの活動計画に伴い、事務局の飯沼より令和6年度予算計画についての説明を行った。当決議案は、賛成多数のため、可決した。

7. 特別講演「いのち輝く未来社会の共鳴」

慶応義塾大学 医学部教授

宮田 裕章



大阪万博 2025 テーマ事業プロデューサーとしてもご活躍されている宮田 裕章（慶応義塾大学 医学部教授）による特別講演を実施した。

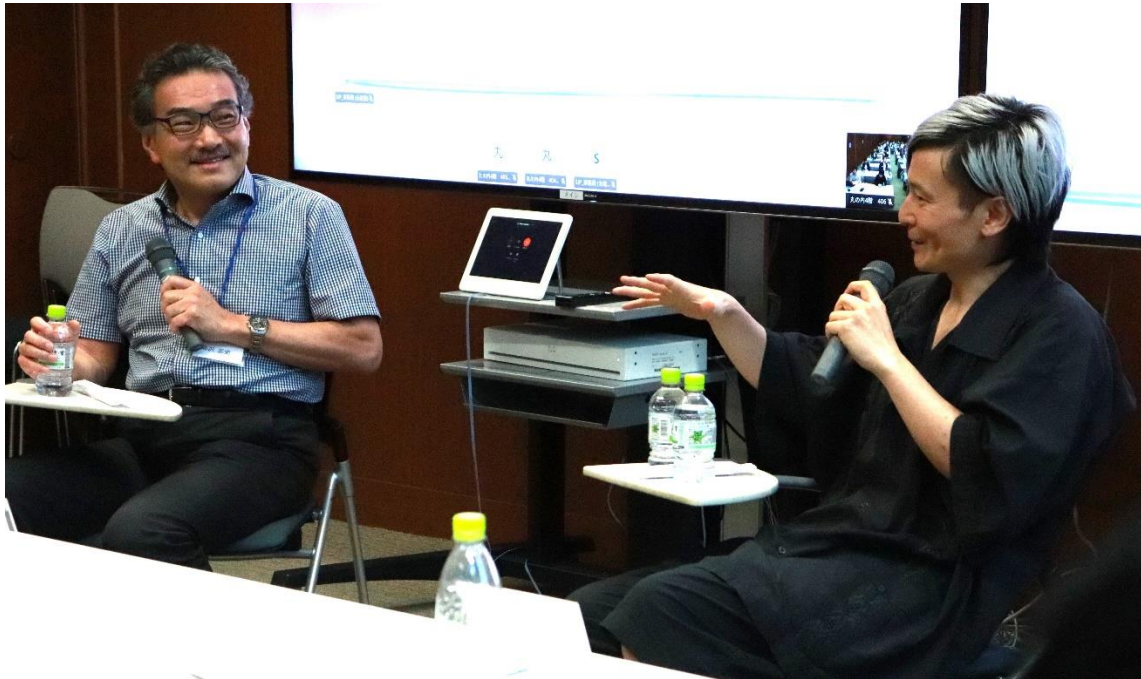
世界の文明や産業の流れから、豊かさの指標として GDP（国内総生産）から GDW（Gross Domestic Well-being）=国内総充実を重視するようになってきており、医療や睡眠などはこの Well-being を高め、社会の豊かさに貢献する重要な要素である。

「いのち輝く未来社会のデザイン」と題した 2025 年の大阪万博では、SDGs や平和・人権など様々なテーマがある中で、「健康とウェルビーイング」もテーマとして含め、一人ひとりのウェルビーイングが共鳴する世界をどう実現するのかを問いとして掲げており、そのために求められているデジタルトランスフォーメーション（DX）の姿や、それと比較した日本の現状などについてご講演いただいた。

8. スペシャル対談

柳沢 正史（筑波大学 国際睡眠医科学研究機構 WPI IIIS 機構長）

宮田 裕章（慶応義塾大学 医学部教授）による対談が行われた。



9. 閉会
